

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2396300036
事業所名	グループホーム豊根の家

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 外気浴をしていると散歩の園児が野の花を手渡してくれたり、野菜のおすそ分けもあり、また本年初めて中学校の福祉体験を受入れています。地域の御祭りでは鮎の塩焼きをほおぼる事もあり、努めて地域行事へと参加しています。特に、職員が地元の人ということが大いに利用者や家族に安心をもたらしています。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 運営推進会議では、「駐車場の先にある廃校の災害対策に夜灯を～」との話し合いが密におこなわれた日もあり、そこから「非常口となっている駐車場側の扉については手動の施錠を設置」することを法人が推進することに至っており、隔月開催が有益に実った例は一つや二つではありません。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 沢に入ってしまう心配のある利用者もいるため、行政に相談したところ柵を張ってくださった例もあり、窓口に出向けば親身に相談にのってもらえ、事業所でも多職種連携の集いや研修会へ参加しています。また、運営推進会議メンバーを主として最後は役場課長へとつながる防災連絡網が築かれてもいて、日頃から応援を得ています。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 面会の多い家族は週1回と頻回なもの年1回という人もいて、毎月「豊根の家通信」を発行して普段の様子を伝えています。また管理者から都度電話をかけて家族とはフォローし合っています。利用者は自由闊達で、入浴の場面では「この間、わたしが入ったでねえ。今日は先に入る？」と利用者同士で相談している様子に安寧が覗えます。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件 ○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。 ○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。 ○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	評価 ○ ○ ○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度
総合評価	—	—	—	—	—	—	○	○	○	○	○